



麻酔科医と特定行為看護師を含む 多職種連携

麻酔科

松浦 康荘



看護師特定行為とは看護師が医師の手順書により行う、実践的な理解力、判断力と高度な技術、知識が必要となる38の行為であり、当院は2023年度から看護師特定行為の指定研修施設になっています。当院の特定行為研修にはPICC（末梢静脈挿入型中心静脈カテーテル）挿入研修が含まれ、今年度からPICC挿入が可能な特定行為看護師が実際に活動を始めています。PICC挿入は難易度の高い特定行為の一つですが、麻酔科医が事前に患者さんの全身状態リスクを評価し特定行為指示を行い、PICC挿入手技は手術室で実施し、何か困った時には随時相談を受け、対応できる体制で運用することで安全性も担保しています。

超高齢化社会を迎え医療資源に限界がある中、多職種協働によるチーム医療の展開は今後ますます重要になってきます。次年度からは看護師特定行為パッケージ『術中麻酔管理

領域』の研修も開始する予定です。手術中の全身麻酔管理、術後疼痛管理を含む

周術期管理においても看護師、薬剤師、臨床工学技士など多職種と連携して行う事で医療安全性、患者満足度の向上にもつなげていきたいと考えております。



研修・講演・学習会のご案内



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

※令和7年1月は、地域連携症例検討会の開催はありません。

次の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

予告

日 時：令和7年2月18日（火） 19：00～ （ハイブリッド開催）

※2月の第2火曜日は祝日のため、第3火曜日の開催となります。

場 所：当院3階 講堂

内 容：①症例検討 1例 （担当） 循環器内科

②ミニレクチャー 1題 （担当） 眼科

※『れんけいと支援11月号』の地域連携症例検討会の予告内容の記載に誤りがございました。

上記の通り訂正いたします。

2. 糖尿病研究会

日 時：令和7年1月16日（木） 17：45～18：30

場 所：当院3階 301会議室

テーマ：糖尿病看護って？

講 師：糖尿病看護認定看護師



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

令和6年度

“地域医療部担当者交流会”を開催しました

11月14日（木）に「在宅における意思決定支援」についてくれよん在宅クリニックの桶口史篤院長を講師にお招きし、地域医療部担当者交流会を開催しました。地域から訪問看護師や介護支援専門員など21名の方が参加され、院内からも25名の看護師が参加しました。

桶口院長より、日々の会話の中から患者がどのような思いや考えを持っている方なのかを理解し、関係者間で情報の統合を行うことの大切さをレクチャーしていただきました。その後、2例の事例についてグループワークを行い、地域との連携を強化し患者自身の思いに沿ったその人が望むその人らしい生活を支援していくことの重要性を改めて理解しました。

今回の交流会では活発な意見交換が行われ、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。次年度も開催予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。





研修医のひとりごと

臨床研修医 森田 貴也



私は、小学校卒業と同時に親元を離れ、縁もゆかりもない富山県で中学、高校、大学と過ごしてきました。中学生の時に、富山市民病院に入院することになり、大変お世話になりました。そのような経緯もあり、「この病院で働きたい」と思っていました。初期臨床研修というのは、医師としての最初の一步であり、医師としての基礎を築く大事な2年間であったと思います。研修する診療科が1、2ヶ月毎に変わるため、常に新しいことを覚えなければならず、慣れない日々の連続でした。当院での充実した指導環境の

おかげで成長でき、1人の医師として自立することに胸が高鳴っております。

さて、医療の世界は常に進化しております。50年後の医療はどうなっているのでしょうか。私たちは自分の納得できる医療をできているのでしょうか。学び続ける心を持ち、成長し続ける医師となれば、と思います。

来年度からは富山県で精神科医として働き始める予定です。また富山市民病院で働くこともあると思うので、その時はよろしくお願いします。

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

1月

科 名	医 師 名	不 在 日	科 名	医 師 名	不 在 日
内 科	浅 野	14日、24日、30日	眼 科	山 田 芳	31日
	野 溝	15日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	児 島	30日
	種 井	17日	歯 科 口 腔 外 科	朽 名	6日、7日、8日
皮 膚 科	服 部	24日		石 坂	10日(午後)、14日
呼吸器・血管外科	湖 東	10日			

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

2024年も残すところあと僅かとなりました。この原稿を書いている11月末時点は日に日に寒さが増しており、一気に冬めいてきました。

個人的にはこの一年は、趣味であるライブに全国各地行けたことが思い出に残っています。会場の大きさは小さきまですが、大迫力の演出を体感できるドームも、最高の音響を味わえるホールも、会場全体の一体感を感じられるライブハウスもそれぞれの良さがあったなあと感じています。

皆様はどのような一年だったでしょうか。

来年も皆様にとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

ふれあい地域医療センター 島田 佳奈



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1112 (代) / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp

